

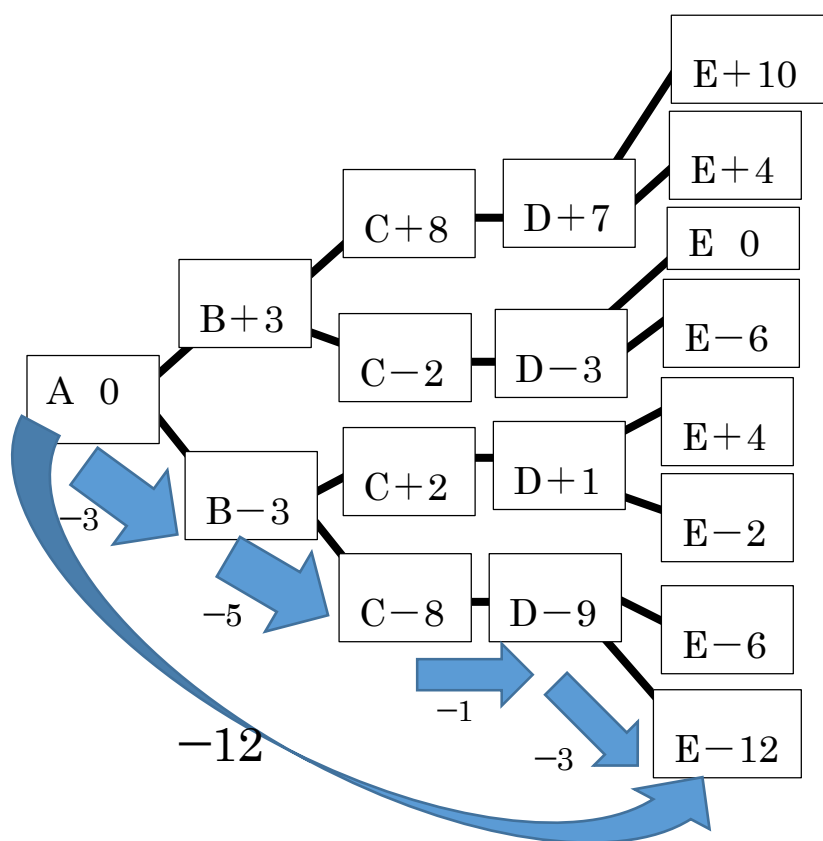
解答

順序関係で注意するのは「～より高い」や「～より低い」のパターンと「…との差が〇cm」のパターンの2通り。

1 つ目のパターンであれば、数直線でも求めやすく、まとめやすい。(場合分けが少ない時が多い)

2 つ目のパターンであれば、数直線だと色々な場合があるので、まとめにくい。

今回は2つ目のパターンを樹形図のようにして解いていく。



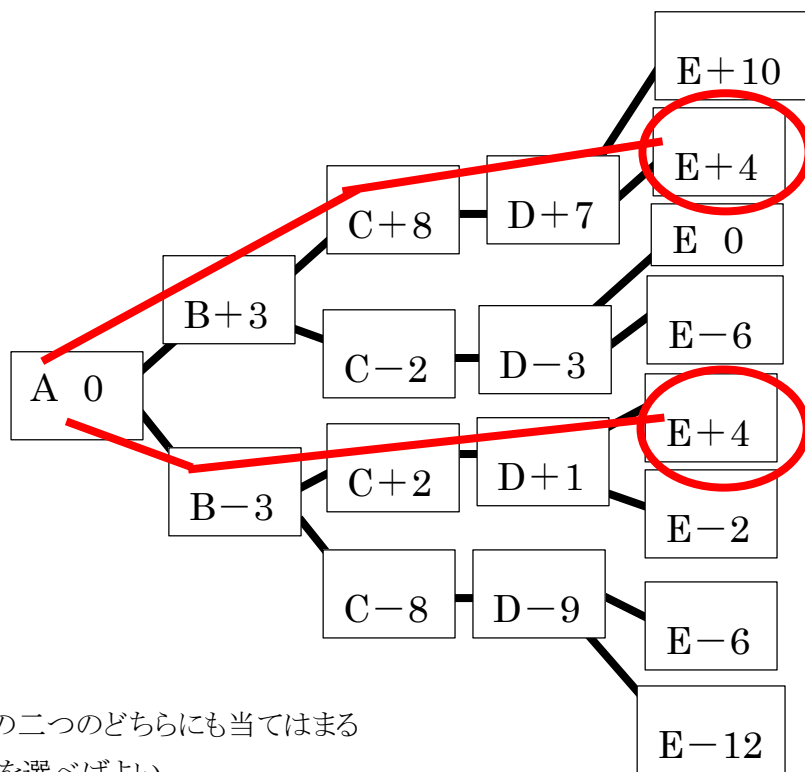
差がある時は+になる時と-になる時があるから、両方の場合を書いていく。
A~B、B~C、D~Eは差が分かっているので2パターン書く。
C~Dは「CはDより1cm高い」ので1パターンのみ

それぞれの差を書き込んでいくと最終的にAとEがどのくらい差があるのかが分かる。

この樹形図でAとEの差が出るものは8通り出てきたので、後は条件にある通り、AとEの差が4cmのものを探す。

すると、E+4(EがAより4cm高い)ものが2つあるのが分かる。

E+4からAに繋がる部分を確認するだけ。



後はこの二つのどちらにも当てはまる
 選択肢を選べばよい。

よって、正しい選択肢は 4 の「E の身長は A より 4 cm 高い。」